

トリプルネガティブ乳がん患者会

ふくろうの会

ふくろうの止まり木



会報 No. 11 令和3年7月発行

～この会報は電子版です～

- 当会報内の文章、画像等の無断転載及び印刷物複製等の行為はご遠慮願います。
- 会員限定の会報です。非会員への共有はご遠慮願います。

目次



- ◆ ごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ◆ 第2回Web講演会に関するお知らせ・・・ 3
- ◆ 活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ◆ サシツズマブゴビテカンに対する
要望書提出のご報告・・・・・・・・ 4
- ◆ 講演活動のご報告・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ◆ 新薬情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6～8
- ◆ カルボプラチン臨床試験について・ 9～11



こんにちは。代表の福原です(*^_^*)

去年の今頃は、こんなにコロナ禍が長引くとは思ってもみませんでした。毎日テレビでは新型コロナウイルスの情報が飛び交い、耳に入らない日はありませんでしたね…。私がこの原稿を書いている今も緊急事態宣言真っ只中です。皆さんがこの会報を読まれる頃には少しでも状況が良くなり緩和されている事祈るばかりです。

挨拶文はいつもいろいろな出来事を書かせてもらっているのですが、この様な状況ですので話題が乏しくて申し訳ありません(T.T)話題を絞り出しますね！！

私は昨年未から体重が増加してしまいました…。身に覚えは確かにあるんです！！それは食べてばかりで動いていないから——Σ(°Д°)そこで食事制限を始めました。朝と昼はしっかり食べて、夜は炭水化物を食べない。主に鍋を食べています。そうすると便通がすごく良くなり、毎日快便になりました！！夜は寝るだけなので野菜メインにしています。ですが無性にジャンクフードをしかも夜に食べたくなり、ドライブスルーに気がつけば行っています(笑)我慢のし過ぎも良くないですからね。



後はウォーキングができる時には4キロ程歩いてました…。過去形ですorz 今は歩いていません！！！！なぜなら、疲れるからです！張り切って言うなって感じですが(笑)

ウォーキングコースの景色です♪車窓からこの景色を眺めています(*´ω`*)だけど家に籠ってばかりではダメですね。

今は愛犬と本気のウォーキングではなくお散歩をしています。天気の良い日は、できる範囲で皆さんも外の空気を吸って深呼吸して下さいね。

皆さま色々な状況下の中で何かと大変な事もあるかと思いますが、みんなで乗り越えて行きましょうね。

また直に皆さまにお会いできる日を楽しみにしております。

代表 福原 宏美

追伸

私の体重ですが徐々に増えています...(笑)





第2回Web講演会のお知らせ



第1回Web講演会の際は、ご協力いただきありがとうございました！多くの視聴回数を頂戴し、大変うれしくっております。

現在も新型コロナウイルス感染症の勢いは収まらず、皆様不安な日々をお過ごしのことと思います。当会といたしましても、勉強会や懇親会の開催めどが立たず、皆様にお会いできない事が残念でありませんが、本年も、この状況下でも出来るWeb講演会を開催致することに致しました。

混乱を避けるために、今回も下記の通り制約が多い中での開催となっております。何卒ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い致します!!

**日時：下記日程の 当日 9時頃～22時頃 まで
講演の動画を何回でもご覧頂けます。**

- ・ 第一回 2021年 9月12日(日)
- ・ 第二回 2021年10月 2日(土)
- ・ 第三回 2021年10月13日(水)

**講師：神戸大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科
教授 谷野 裕一 先生**

内容：「乳癌学会、ASCOにおけるTNBC研究の報告」

☆講演画像は60分程度で、何れも同じ内容です。

☆閲覧方法はYouTubeの限定公開です。**公開日当日9時頃に、閲覧用のURLを会員の皆様全員にメールでお知らせ致します。**毎回、URLは違いますので、閲覧したい日の当日朝に送られてくるメールに添付されたURLで、ご覧ください。

☆講演に関する谷野先生へのご質問を、当会にてメールで受け付け致します。質問内容を当会でまとめて、一括で谷野先生にメールをさせていただきますため、**10月30日を締め切り**とさせていただきます。ご回答は12月の会報に匿名で掲載致しますので、個別には回答はいたしませんこと、予めご了承願います。

☆会員様限定ですので、くれぐれも非会員への共有や、録画等をご遠慮願います。



- ・ 2021年5月21日 日本医科大学医学部1年生へ、代表福原が講義を行いました。
- ・ 2021年3月 サシツズマブゴビテカンの早期承認に向けて厚生労働省に要望書を提出しました。
- ・ 2020年9, 10, 11月 会員限定でWeb講演会を行いました。
- ・ 2019年12月1日 TNBCチャリティーパーティーを開催しました。
- ・ 2019年9月25日 日医工株式会社 田村社長に、感謝状を贈呈しました。
- ・ 2019年9月23日 第10回 勉強会・懇親会を開催いたしました。
- ・ 2019年7月16日 アテゾリズマブの早期承認と適正使用に関する要望書を提出しました。
- ・ 2019年7月11日(木)~13日(土) 第27回日本乳癌学会学術総会にてブース展示を行いました。
- ・ 2019年5月23日 日本医科大学医学部1年生へ、代表福原が講義を行いました。
- ・ 2019年4月14日 トリプルネガティブ乳がんフォーラム2019を開催しました。
- ・ 2019年2月23日 日本医師会治験促進センターにて代表福原が講演を行いました。
- ・ 2017年12月より カルボプラチンの無償提供に向け署名活動を開始
- ・ 2016年1月21日 『トリプルネガティブ乳がん患者会ふくろうの会』設立

サシツズマブゴビテカンの早期承認に向けて、 厚生労働省に要望書を提出しました

サシツズマブゴビテカンは、米国で既に承認されている転移再発TNBCに対する画期的治療薬です。2020年4月に、米国Immunomedics社（2020年10月米Gilead Sciences, 社が買収）が開発を手掛けるTrophoblast cell-surface antigen 2（TROP2）抗体薬物複合体がアメリカ食品医薬品局（FDA）により承認されました。サシツズマブゴビテカンの効果と有効性は第1/2相臨床試験であるIMMU-132-01試験と、第3相臨床試験であるASCENT試験により示されております。これまでの3次治療と比較しはるかに有効性が高くさらに長期に有効性が持続するという、転移再発トリプルネガティブ乳がん患者にとって非常に期待される結果となりました。

諸事情により、日本での治験開始が滞っているとの情報を受け、当会として何か出来ることはないかと検討した結果、下記の様式にて要望書を提出いたしました。1日でも早くこの薬が私達の手元に届くよう、今後も出来る事を行っていきたいと思っております。

☆医療上必要性の高い未承認薬・適応外薬の要望募集
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_12946.html

☆第IV回 医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬の要望募集で提出された要望について
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000111297.html>

『第29回日本乳癌学会学術総会』開催予定

※ 今回も、当会是不参加となります※

2021年7月1日～3日 パシフィコ横浜ノース

今回はどの患者団体もブース設置はなくビデオレターとなります。ふくろうの会としての参加はありませんが、谷野先生のご講演や患者セッションなどはございますため、ご興味のある方はぜひご参加ください！

学会サイト：<https://site2.convention.co.jp/29jbcs/>



新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限される中、啓発活動の一環として、2つの講演会をWeb上で行いました。色々な形で、当会の活動目標である“この病気を何とかしたい！！”という思いを伝えることができ、この状況の中で出来る事があるのだなと実感しました。今回は、日本医科大学医学部での講演についてご報告いたします！

日本医科大学医学部の1年生に講義を行いました

今年で3回目となる医学生に向けての講演を行いました。コロナ禍と言う事もあり、リモートでの講演となり違う意味で凄く緊張しました(;´д`)私のスライドを録画したものを学生の皆様に見て頂き、その後にZOOMにて質疑応答を行いました。

実際にいただいた質問と私の回答をご報告いたします(*´ω`*)

患者会と医師の付き合い方、医師と患者の関係についてどうすれば良いですか？

⊗患者会と医師の付き合い方は非常に大切だと思います。当会は自分の病気について学ぶ事が大切と考えている為、先生との関係が一番大切なんです。実際に乳腺外科の先生にご協力頂き勉強会を開催しています。最新情報や治療法などをお話ししていただく中で、質疑応答の時間をもうける様にしており、参加者の皆さんと先生と全員で考え学べる様にしています。患者との関係は診察とは違い、一歩外に出る事で、医師と患者の距離はグッと近くなり、患者の気持ちに寄り添う事がしやすいのではないかなと思います。ですので、患者会と医師との連携や助け合いは非常に重要と考えます。

懇親会では何をしていますか？コロナ禍の中での活動はどうしているのですか？

⊗当会の懇親会は、同病の方達の交流の場として開催しています。同じ悩みを分かち合ったり相談したり。同じ経験をしている方と話す事で気持ちが楽になったとのご意見を多数いただいています。

また、コロナ禍の影響で現在は今まで行ってきた勉強会・懇親会を開催出来なくなりました。そこでWEB講演会を開催し、何回かに分けて視聴できるようにしています。当会の活動の柱である「トリプルネガティブ乳がんの予後を良くしたい・治したい」という観点から、厚労省に要望書を提出し働きかけを行ったりなど。そちらにも力を入れて活動しています。

乳がんと診断をされてから、職場の理解などはどうですか？

⊗乳がんと診断を受け、職場の上司に話しました。私は治療しながら働きたいが、抗癌剤の副作用が出れば休ませてもらわなければならない事、手術をしたら入院が必要であることなど話しましたが、正直いい顔はしてくれませんでした。ですので一旦退職して治療に専念したんです。治療が全て終わり自分自身働く気持ちが湧いてきたので、再度上司にもう一度働かせて下さいと自ら嘆願し職場復帰させてもらえることになりました。私が患者会を始める頃には、職場みんなの理解を得られていましたので、今では上司を含め良き理解者です！

まだまだ質問がありましたがあ抜粋して記載させて頂きました。リモートでの講演でしたので残念ながら写真はありません...(T-T)ですが、医学生の皆さんは、このコロナ禍の中でもしっかり授業に参加し勉強されていました。現在クラブ活動もない為1学年の皆さんは一度もクラブ活動には参加できていないそうです。青春が...可哀想に...。ですがこの経験を活かして将来立派なお医者さんになって欲しいと思いました。

頑張って！！将来の卵ちゃん達(=´▽`)人(´▽`=)



今回も、新型コロナウイルス感染症の影響で勉強会が開催できませんでしたので、これまでの勉強会のまとめを掲載致します。本号では、TNBC新薬として期待させる『**トラスツズマブ デルクステカン**』『**サシツズマブゴビテカン**』について、過去の勉強会での内容をまとめてみました！

- ※注意 1 保険適応や学会発表など、**勉強会開催当時の情報**のまま、掲載しております。
 ※注意 2 先生の所属先は、勉強会当時と現在とで異なることがございますため、記載しておりません。

木川 雄一郎 先生

第10回 2019年9月23日 神戸

抗体薬物複合体 (ADC) について

ADCは、抗体によってがん細胞に標的を絞り、抗体に付加した薬物をがん細胞内に直接届けることで、がん細胞を攻撃しかつ正常な細胞への影響を避けるという目的で設計された、次世代のがん治療薬である。



ADCの仕組みは、がん細胞にあるタンパクに、薬物がついた抗体(ADC)が結合すると、がん細胞の中に薬物がとりこまれてがん細胞を死滅させるというものだ。代表的な乳がんに対するADCは、HER2陽性乳がん保険適応となっているトラスツズマブエムタンシン(商品名:カドサイラ)がある。

- DS8201 (トラスツズマブ デルクステカン)
 DS8201は、HER2タンパクに結合するADCで、HER2(1+)や(2+)でHER2陰性とされた乳がんにも効くとされている。さらに、ADCが結合したがん細胞の隣にあるがん細胞にも薬物が取り込まれるというバイスタンダー効果がある。おそらくHER2陽性乳がんには年明け位に日本でも保険適応となると言われているが、そう遠くない将来にHER2(1+)(2+)の乳がんにも使えるようになると予想されている。
- サシツズマブ コビテカン
 Trop 2 タンパクに結合するADC (イリノテカンという抗がん剤を付加した抗体)で、まだ研究途中で最終的な報告ではないが、TNBCに効果的とされている。今まで色々な抗がん剤を使って効果がなくなってきた人に対しても効果的であるとされており、転移TNBC治療に期待されている。



近日中に使えるようになる可能性の高い薬剤

①トラスツズマブ デルクステカン (商品名:エンハーツ) について

お薬が臨床試験で非常に効果があると分かった場合、日本でも迅速に承認される制度があり、このお薬は今年HER2陽性乳がんの患者さんには優先して承認された。

抗体薬物複合体という、標的とするタンパクに結合する抗体に抗がん剤が付いているというお薬である。攻撃する標的はHER2で、HER2を持つがん細胞の近くで上手に抗がん剤を離し、がん細胞を攻撃する。このお薬は臨床試験で、現在実臨床においてはHER2が陰性とされているHER2低発現(免疫染色で2+、1+でFISHで陰性)の患者さんにも、しっかりと効果があることがわかっている。TNBCの中にもHER2低発現の患者さんが2割くらいいると言われているので、こういった方にはこのお薬が近いうちに使えるようになるかと期待されている。ただ一方で、分子標的薬とはいえ副作用が少し強く出るといった問題点がある。

②サシツズマブゴビテカン

このお薬も抗体薬物複合体であり、標的とするTrop-2というタンパクに結合する抗体に抗がん剤が付いているお薬である。Trop-2を持つがん細胞にこのお薬がくっつくと、がん細胞の中に抗がん剤が取り込まれ、がん細胞を死滅させる。

海外の臨床試験で、TNBC患者さんの8割で、がん細胞の表面にこのTrop-2というターゲットとなるようなタンパクを出しているという事がわかっている、再発して2レジメン以上の治療を受けた患者さんでも33%の方に効果があり、さらにはその効果が50%以上の方が半年、16%の方は12カ月以上も持続するといった、素晴らしい結果となった。TNBCの再発治療において、治療が何種類か行われた後はなかなか厳しい状況となることが多い。この臨床試験の結果を受け、このお薬は画期的治療薬であると認められ、海外では早期に承認された。日本でも治験が始まることがわかっているが、今の段階では明確には公表されていない。とはいえやはりこのお薬も、副作用が他の分子標的薬より少し多い。前述のエンハーツも同様に、効果が非常に高いお薬は分子標的薬のメリットである副作用が少ないというものは少しずれてしまっており、好中球減少や下痢といった副作用が少し強い。薬を使えるようにするだけでなく、安全性も確認して上手に使える環境を整えていくことも必要である。



トリプルネガティブ乳がん勉強会
ふくろうの会

第11回 勉強会 Web講演会
2020年9月13日 撮影

1. ふくろうの会について
ふくろうの会 代表 福原宏美

2. ご講演
「トリプルネガティブ乳がん治療の現状と今後の展望」
講師: 昭和大学病院 乳癌外科 増田 紘子 先生

3. ディスカッション
昭和大学病院 乳癌外科 増田 紘子 先生
神戸大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科 教授 谷野裕一先生
ふくろうの会 代表 福原宏美



サシツズマブゴビテカン（商品名：Trodelvy・） 再発・転移性トリプルネガティブ乳がんに対する 第3相試験ASCENT試験の概要



勉強会のまとめにもあるように、サシツズマブゴビテカンは転移トリプルネガティブ乳がんの治療薬として画期的な治療薬であり、非常に期待されています。とはいえ、どんな薬なの？副作用は？早く使えるようになってほしいと思う一方、実際に自分が投与するかもしれないこの薬について、気になるところですね。

この薬の臨床試験であるASCENT試験第3相の結果がNEJM誌4月22日号に報告されました。ASCENT試験は、米国・マサチューセッツ総合病院がんセンターのAditya Bardia氏らが、7か国88施設で実施した試験です。今回、この報告をまとめたものを、皆様にお知らせいたしますので、是非ご参考になさってください！

サシツズマブゴビテカンとは 近年、抗体に抗がん剤を結合させた抗体薬物複合体（ADC）と呼ばれる新しいタイプの薬剤の開発が様々ながんを対象にして実施されています。サシツズマブゴビテカンは、Trop-2というタンパクを標的とする抗体に、イリノテカンの活性代謝物SN-38を結合させたものです。がん細胞表面に発現しているTrop-2タンパクにサシツズマブゴビテカンが結合すると、がん細胞内に取り込まれ、そこで結合している抗がん剤を放出します。そのため、より選択的かつ効果的にがん細胞にダメージを与えることができます。Trop-2は、トリプルネガティブ乳がんを始め、多くの固形がんが発現していることが報告されています。

試験結果

対象：化学療法剤による治療を2回以上受けた後に再発した転移性又は切除不能な局所進行性のトリプルネガティブ乳がんの患者さん468例（27～82歳、中央値54歳）

方法：サシツズマブゴビテカンと医師が選択した単剤の標準化学療法のどちらかの治療を受けてもらう。

結果：【サシツズマブゴビテカン投与群／化学療法単剤投与群】

がんが進行せずに安定した状態である無増悪生存期間（PFS） 5.6ヶ月／1.7ヶ月

全生存期間（OS） 12.1ヶ月／6.7ヶ月 奏効率（完全奏功及び部分奏功） 35％／5％

⇒ **このお薬によって転移TNBC患者の予後はグンとよくなる可能性が予想されます！！**

安全性： グレード3以上の有害事象【サシツズマブゴビテカン投与群／化学療法単剤投与群】

好中球減少症 【51％／33％】、白血球減少症 【10％／5％】

下痢 【10％／1％未満】、貧血 【8％／5％】、発熱性好中球減少症 【6％／2％】

※有害事象による死亡例は各群3例報告されましたが、サシツズマブゴビテカン投与に関連した死亡は認められませんでした。

⇒ **脱毛はGrade 1、2のみでしたが、【46％／16％】と、比較的多い副作用と言えそうです。前治療ですでに脱毛している場合、ウィッグ装着の継続が必要そうです。。。**

承認状況

サシツズマブゴビテカンは、米国では2剤以上の前治療歴のある再発・転移性トリプルネガティブ乳がんの治療薬として2020年4月に迅速承認され、欧州では2021年3月に承認申請が実施されました。日本での承認には日本人患者さんの有効性と安全性のデータが求められていますので、国内治験が今後実施される見込みです。

参考文献：Bradia A, et al. N Engl J Med. 2021;384:1529-1541

トリプルネガティブ
乳がんの再発を防ぐ。
新しい治療薬確立の
ための臨床試験を

新しい治療薬の有効性を証明するため、臨床試験費用2000万円が必要です。

神戸大学医学部 乳腺内分泌外科
谷野 裕一

結果報告



谷野先生による臨床試験に対するクラウドファンディング

皆様のお陰で、
3000万円を超えるご寄付を頂戴し達成致しました！！

会員の皆さまへ

顧問の谷野です。ご支援に感謝致します。2月に2400万円が手元に届きました。事務の方を雇って事務体制が整いました。しかし270人予定ですが、患者登録が15人で苦戦しています。全国の拠点病院に施設登録の手紙を送り、夏までに100施設くらいを目指します。<http://tnbc-ca.com> に国の臨床試験登録jRCTのサイトのリンクを張っています。jRCTでは登録施設などの情報を見て頂けます。またお気づきのことがあればご連絡ください。この度はご支援を頂き誠に有り難うございました。

谷野 裕一

ご協力、本当に
ありがとうございました！



カルボプラチン臨床試験について



以前よりお伝えしております当臨床試験につきまして、改めて詳細をお伝えします！

当会の顧問である谷野先生が、TNBCに対する臨床試験を行っております。この臨床試験の結果でカルボプラチンの有効性が示されれば、TNBC予後改善の大きな一歩となります。

この臨床試験に被検者が早く多く集まるよう、今後この臨床試験が軌道に乗り、皆様に正確な情報をお伝えする準備が整い次第、リクルート活動を開始するつもりです。その際は、ご協力のほどよろしくお願い致します。

試験名：術前化学療法で病理学的完全奏効とならなかったトリプルネガティブ乳癌に対する術後カルボプラチン単独治療の第3相ランダム化比較試験

研究責任者：谷野 裕一先生

主導施設：神戸大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科

実施施設：(2021年4月更新) 神戸大学医学部附属病院 他 全国35施設 ※11P記載

【臨床試験の概要】

術前化学療法で病理学的完全奏功とならなかったトリプルネガティブ乳がんに対する術後カルボプラチン単独治療の有効性の評価。

対象：カルボプラチンを除く抗癌剤(アントラサイクリン、タキサンを含む)による治療を受けた後、乳がん手術を受けたトリプルネガティブ乳がん(ER、PgR <10%、HER2スコア1+/0または2+でもFISH-)で、手術検体において病理学的に浸潤がん遺残またはリンパ節転移ありの患者。

方法：予定とされている治療終了後に**カルボプラチンを4回投与した群**と、**無治療群**の無再発生存率と、全生存率を比較する。

試験に登録後、**カルボプラチンの追加治療を受ける群**か、**経過観察だけの群**かに決定されます。(決定方法は、術後組織のBRCAnessの有無と術後組織学的リンパ節転移の有無を要因とした割付を行う。)

<治療群> カルボプラチンを3週間1コースとして4コースの治療を行う。

<対照群(無治療群)> 経過観察のみを行う

※上記のように、**この試験に参加したすべての人が、カルボプラチンの治療を受けられるわけではありません。**

※本臨床試験は、「臨床研究法」に基づく「特定臨床研究」であり、神戸大学認定臨床研究審査委員会の承認を受けています。

☆☆参加方法☆☆

・まずはご自身がこの試験に参加可能か、以下の試験対象者の条件をご確認ください!!

・条件を満たしているのご判断されましたら、こちらの試験詳細PDFを印刷して、必ず主治医にご相談ください。

 [試験詳細PDF](#)

■ 試験対象者

＜選択基準＞

以下の乳癌患者を対象とする

- (1) 化学療法前の検体においてトリプルネガティブ乳癌（TNBC）である患者
※エストロゲン受容体およびプロゲステロン受容体が免疫組織染色法にて陰性（<10%）、HER2が陰性の患者
- (2) 乳癌手術前にアントラサイクリンとタキサンを含む化学療法を受け、根治術が行われた患者
- (3) 乳癌手術検体において、浸潤がんの遺残またはリンパ節転移が認められる患者
- (4) 乳癌手術後4か月以内の患者
- (5) 同意取得時に、年齢が20歳以上80歳未満の女性
- (6) 本試験への参加について、本人の自由意思による文書同意が得られた患者

＜除外基準＞

- (1) 手術検体においてERが1%以上、またはHER2陽性と判断された患者
- (2) 乳癌手術前にカルボプラチンによる治療を受けた患者
- (3) 5年以内の治療歴がある他癌の患者、乳癌の既往のある患者、両側性乳癌の患者
- (4) 重篤な骨髄抑制のある患者
- (5) 白金を含む薬剤（カルボプラチンを含む）に対して重篤な過敏症の既往歴がある患者
- (6) 妊婦および妊娠している可能性のある患者、または授乳中の患者
- (7) 6ヶ月以内に治験に参加した患者
- (8) 他の臓器への癌転移のある患者
- (9) 重篤な心・腎・肝臓の合併症がある患者
- (10) その他試験責任医師又は試験分担医師が試験対象として不適切と判断した患者

実施場所（35施設：2021年4月時点）

※患者様が施設に直接問い合わせをすることはご遠慮下さい。必ず主治医を経由して下さい。

弘前市立病院
千葉医療センター

横浜労災病院

北里大学

新潟大学

岐阜大学

神戸海星病院

甲南病院

神鋼記念病院

横浜市立大学附属病院

加古川中央市民病院

東京医科大学茨城医療センター

東京医科大学八王子医療センター

東京医科大学病院

横浜市立大学附属市民総合医療センター

秋田大学医学部附属病院

淀川キリスト教病院

昭和大学病院

大阪医科大学附属病院

日本医科大学付属病院

大阪プレストクリニック

高知大学医学部附属病院

関西電力病院

大阪府済生会野江病院

千葉大学医学部附属病院

市立釧路総合病院

市立豊中病院

和歌山県立医科大学附属病院

愛媛大学医学部附属病院

京都府立医科大学附属病院

兵庫医科大学病院

明和病院

神戸大学医学部附属病院

兵庫県立がんセンター

熊本大学病院

在庫がなくなり次第、 チャリティーTシャツの販売を終了致します

前号でお知らせしました通り、チャリティーTシャツの販売を、在庫限りで販売終了と致します。

まだ在庫はございますが残りわずかです！ご希望の会員様がおられましたら早めにお申し込み下さい。

これまでチャリティーにご協力いただきありがとうございました！



ご購入は、当会ホームページより！

メールアドレス変更時は必ずご連絡いただき、 受信設定をご確認下さい

tnbc.fukurounokai@gmail.comからのメールを受信できるよう、
ドメイン指定解除等のご対応をお願い致します。ご協力をお願い致します。

編集後記

今回の会報も、これまでの勉強会のまとめ記事の掲載が中心となってしまいましたこと、大変申し訳ございません。まとめを作成するにあたり見返してみると、ずいぶん前から新薬についての情報をご講演いただいていたんだと、講師の先生方には本当に感謝です！そして勉強会を開催し皆様に新しい情報をお届けすることの大切さを、改めて感じました。次号はWeb講演会の内容を掲載いたしますので、ご期待下さい！最後まで目を通して頂きありがとうございました。引き続きご支援の程よろしくお願い致します。

トリプルネガティブ乳がん患者会 ふくろうの会

E-mail: tnbc.fukurounokai@gmail.com
HP: <http://tnbcfukurounokai.wix.com/tnbc>



ふくろうの会 URL